

あとがき

鬱陶しい梅雨の季節です。今年も暖冬で桜も早く咲きましたが、4月は寒い日が続き桜も長く楽しめました。新年度がスタートして、新たに臨床検査技師として働き始めた方々は、職場にも慣れて活躍されていることでしょう。学生時代の臨地実習とは異なり、毎日、多種多様な出来事に遭遇して悩まれていることはないでしょうか。知らずに行っている作業が検査結果に大きな影響を与えてしまうピットフォールが、臨床検査には多くあります。授業では習わないような検査の現場で起きるトラブルを未然に防ぐ知識なども“Laboratory Practice”などで取り上げています。今月号では、正確なデータを臨床に役立てるのが難しい亜鉛は、日内変動も大きく、採血から血清分離までの放置時間が長くなると上昇する傾向があること。また、採血時に肘静脈の静脈が確認し難い患者に手を強く握らせたり、握ったり開いたりを繰り返す行為が、血清カリウム値を上昇させてしまうことを解説しています。画像診断で臨床検査技師がかかわることが多いのは超音波検査ですが、腹部領域ではMRIやCTなども検査に利用されることも多く、画像診断入門を連載している“技術講座”では、これらの検査法の優れた点や劣る点を解説しています。さらに癌に関連した新しい検査もいくつか紹介しています。“ワンポイント・アドバイス”では、大腸癌の健診に利用される便潜血検査(便中ヘモグロビン)に代わる検査として便中ラクトフェリン検査を、また“疾患と検査値の推移”では胃潰瘍や胃癌の原因として注目されたピロリ菌の除菌時の確認に必要な感染診断法の利用を紹介しています。

これから夏に向けての季節の変わり目です。読者の皆様には、本誌を是非よく読んで、新しい検査や幅広い知識を身につけることを心がけ、体調を崩さずお仕事、勉学に励んでいただきたいと思います。

(曾根伸治)

7月号予告

第38巻7号(2010年7月号)

病気のはなし

日本脳炎と新しい日本脳炎ワクチン —— 宮崎千明
技術講座

生化学：ホルモンの測定シリーズ・16 新規項目：1
心房性ナトリウム利尿ペプチド(ANP)、脳性利尿
ペプチド(BNP, NT-ProBNP) —— 石井潤一
生理：臨床生理検査ステップアップのための
画像診断入門・5 頸動脈MRI, MRA

坂本雅彦, 他
血液：血小板ペルオキシダーゼ(PPO) —— 山崎家春
疾患と検査値の推移

発熱性好中球減少症 —— 田村和夫
臨床医からの質問に答える

グラム染色標本では認められるが、培養検査で
発育しない細菌 —— 大塚嘉人
ワンポイントアドバイス

末梢血幹細胞移植におけるCD34陽性細胞の評価
—— 川平 宏

Laboratory Practice

遺伝子：FISH法のピットフォール —— 梅村しのぶ
病理：捺印細胞診の有用性(脳腫瘍以外)

—— 浅野重之, 他
生化学：簡易血糖測定器におけるアスコルビン酸
の影響 —— 速水貴弘

診療支援：的確な緊急異常値の報告の運用
—— 大川龍之介, 他

微生物：抗マラリア薬に対するマラリア原虫
耐性化の現状 —— 狩野繁之

今月の表紙/けんさ外国語会話/ラボクイズ/役に立つ
免疫組織化学：免疫組織化学で注目すべき抗体/けん
さ質問箱/トピックス/他

ラボクイズ正解者

第38巻4号(2010年4月号)

雨宮三枝子(東京都板橋区)/池田和人(加
賀市)/池田文雄(東京都板橋区)/大野あ
けみ(岐阜市)/岡田佳子(豊川市)/佐藤美
砂(仙台市)/信夫和利(登米市)/林久美子
(鳥取市)/古田治(岐阜県加茂郡)/山田幸
栄(朝霞市)

●編集委員

菅野 治重
(編集主幹)

伊瀬 恵子

曾根 伸治

高木 康

手島 伸一

永江 学

矢富 裕

山内 一由

(五十音順)

検査と技術

2010年6月1日発行(毎月1回1日発行)

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

☎113-8719

東京都文京区本郷1-28-23

電話 本誌編集室直通(03)3817-5713

ファクシミリ (03)3815-7802/(03)3815-7982

E-mail kensa@igaku-shoin.co.jp

http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/kensa/

販売部直通

振替口座

印刷 (株)アイワード

広告申込 (株)東広社

(03)3817-5659

00170-9-96693

(011)241-9341

(03)3409-8803

Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2010, Printed in Japan.

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

【JCOPY】<(株)出版者著作権管理機構委託出版物>

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)出版者著作権管理機構
(電話03-3513-6969, FAX03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

医学書院ホームページ(インターネット)はhttp://www.igaku-shoin.co.jpです。

(担当 山本・井上・能藤)